

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (府中町立府中南小学校)

- ① 教科等 算数科 ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 たしざん (2)
- ④ 本時の目標 被加数を分解して 10 のまとまりを作る加法の計算の仕方について考えることができる。
- ⑤ 学習の流れ (3時間目/全12時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 課題をつかむ。</p> <p>(1) 問題をつかむ。</p> <p>(2) めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> $3 + 9$ のけいさんのしかたをかんがえよう。 </div> <p>2 自力で解決する。</p> <p>○ブロックを動かして、計算の仕方を考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文から「あわせて」というキーワードに着目し、「あわせて」というキーワードはたし算を導くことを確認する。 ・ブロックを記載したワークシートを用意し、どの児童も円滑に図を描くことができるようにさせる。 	
<p>3 共同で解決する。</p> <p>(1) ペアトークをする。</p> <p>○隣の友だちにブロックを見せながら説明しましょう。</p> <p>(2) みんなの前で発表する。</p> <p>①加数の9を7と2に分け、被加数の3と7をたして10にした後、残りの2をたす。</p> <div style="text-align: center;"> $\begin{array}{c} 3 + 9 = 12 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 10 \quad 7 \quad 2 \end{array}$ </div> <p>②被加数の3を2と1に分け、加数の9と1をたして10にした後、残りの2をたす。</p> <div style="text-align: center;"> $\begin{array}{c} 3 + 9 = 12 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 2 \quad 1 \quad 10 \end{array}$ </div> <p>○どのようにブロックを動かしたか、みんなに説明しましょう。</p> <p>(3) 話し合いをする。(練り上げは効率性)</p> <p>○10のまとまりをつくるには、①と②ではどちらが速いですか。</p> <p>○みんなで①と②の考え方のブロックの動かし方を確かめてみましょう。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「始めに」「次に」「最後に」などの順序を表す言葉とともに、「式は」「答えは」などの算数的用語を使わせることで相手に分かりやすく、順序よく説明することを意識させる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・10のまとまりが作りやすい方法を具体物や言葉、式、図を用いて考えている。 〔数学的な考え方〕 (発言、ノート)
<p>4 まとめ。</p> <p>○3+8の計算を自分が1番簡単だと思う方法でしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・式が変わっても、10のまとまりを作って答えを導く方法は変わらないことを確認する。 	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 10のまとまりに着目して計算の仕方を考え、その過程を筋道を立てて表現したり説明したりすることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- ペアトークを取り入れ、相手に分かりやすく順序よく説明するために、「キーワード」を意識させる。